

# 大磯町新たな観光の核づくり基本計画

## 1 計画の考え方

### (1) 計画の趣旨

平成 25 年 2 月 18 日に神奈川県  
の認定を受けた新たな観光の核づ  
くり構想である「三つの舞台を中  
心にニューツーリズムによる日本  
一の保養地再生」を計画的に推進  
するために策定する。

平成 25 年度に実施した調査委  
託結果等を基に、事業計画の精査を行い、「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」  
を改訂する。

### 三つの舞台を中心にニューツーリズムによる 日本一の保養地再生



### (2) 計画の期間

ア 平成 25 (2013) 年度から平成 32 (2020) 年度の 8 年間の計画とする。

イ 必要に応じて、計画期間内であっても、随時見直しを行う。

## 2 計画の基本方針

次の方針にそって計画の実現  
をめざす。

なお、本計画は、大磯町第四  
次総合計画中期基本計画の重  
点プロジェクトである「地域資  
源を生かした観光推進プロジ  
ェクト」を実現する計画でもあ  
る。



1. 町民参加による保養地づくり
2. 四季を通じ質の高い魅力あふれる保養地づくり
3. 民間の力を活用した官民連携による保養地づくり
4. 観光拠点の形成とネットワーク化による保養地づくり

### 3 事業のコンセプト

事業のコンセプトは、

## 「日本一の保養地、それは

日本一住みたい町・大磯の創造」である。

明治には、大磯が本来有している保養地としての素地に「海水浴場」と「禰龍館」の要素を付け加え、保養地のまちづくりが行われた。この保養地としての素地は現代にも受け継がれており、認定事業はこれを再び生かし、そして新たに「健康」と「食文化」の要素を付け加える。

自然を活かした砂浴・海水浴・森林浴・ゆったり散歩、温泉、新鮮な野菜・果物・魚介類の料理の味わい、歴史・文化などの大磯の良さを体感するヘルスツーリズム、グリーンツーリズム、エコツーリズム、スポーツツーリズムなどのニューツーリズムを組み合わせることによって、新たな保養地のまちづくりを行うものである。

この新たな保養地のまちづくりは、モノやサービスを消費して満足を得る都市型観光とは違い、地域の人々の暮らしの様に触れ、「楽しい気持ちになりたい」「ゆっくりした時間を過ごしたい」「癒されたい」という需要を満たす環境価値が、大磯の地域特性として存在していることに着目し、「大磯に来ると楽しくゆっくりとした時間を過ごせる」といった“場”と“機会”を創出するものである。

大磯の自然と歴史文化、人々の自然の見方・ふれあい、人々の営み、モノづくりの創造など、町民の暮らしに根差した地域活力は、人々の“交流”がしっかりとしていなければ続いていかない。「訪れてよし」「住んでよし」の地域にするためには、人々の“つながり”が必要である。

人の温かさに焦点を当てることにより、大磯のことを人々に知ってもらう（起）、来町者がリピーターになる（承）、「訪れたい」から「住みたい」に変わる（転）、リピーターが移住しそれが広まることにより「日本一住みたい町」というイメージが確立される（結）。

この“つながり”を軸とした起承転結が、「日本一住みたい町・大磯の創造」に繋がるものとし、具体化の検討を進めていくものである。





楽しくゆっくりとした時間：大磯市



楽しくゆっくりとした時間：農業体験

## 4 事業の推進体制

事業の推進体制は、次のとおりである。

関係する事項の意思決定機関！

### 大磯町新たな観光の核づくり推進本部

大磯町商工会／公益社団法人大磯町観光協会／大磯町新たな観光の核づくり推進協議会／大磯町

【観光の核づくり事業】 推進のための連携及び連絡調整を担う機関

### 大磯町新たな観光の核づくり推進協議会

関係21団体

【大磯港賑わい交流施設整備事業】 推進のための連携及び連絡調整を担う機関

### (仮称) 大磯港賑わい交流施設整備事業調整会議

国土交通省／神奈川県／大磯町／民間事業者

【自転車道整備事業】 推進のための連携及び連絡調整を担う機関

### (仮称) 大磯町自転車道整備事業調整会議

国土交通省／神奈川県／中井町／二宮町／大磯町／民間事業者

### 大磯町新たな観光の核づくり推進協議会

東日本旅客鉄道株式会社	大磯町漁業協同組合	大磯港みなとまちづくり協議会
大磯プリンスホテル	湘南農業協同組合	大磯町区長連絡協議会
大磯飲食店組合	(株)ランナース・ウェルネス	神奈川県湘南地域県政総合センター
大磯逸品の会	東海大学観光学部	神奈川県平塚土木事務所
(公財)神奈川県公園協会	おおいそオープンガーデンホーム運営委員会	大磯町
NPO 法人大磯ガイドボランティア協会	NPO 法人大磯だいき倶楽部	(公社)大磯町観光協会
NPO 法人西湘をあそぶ会	神奈川中央交通株式会社	大磯町商工会

## 5 事業を行う区域

事業を行う区域は、大磯町の全域である。



更に町内へのアクセス性を高めるため、既に広域的な連携を進めている次のような組織との協同を図った事業展開も視野に入れる。

**湘南地区観光振興協議会**・・・4市3町（鎌倉市 藤沢市 茅ヶ崎市 平塚市 寒川町 二宮町 大磯町）、湘南地域県政総合センター、神奈川県観光協会により、観光振興対策を講じている。

**HaNaNiOiねっと**・・・1市3町（秦野市 中井町 二宮町 大磯町）の広域連携により、観光振興及び都市間交流へ働きかける活動を行っている。

**丹沢湘南観光連携会議**・・・伊勢原市 秦野市 平塚市 二宮町 中井町 大磯町 湘南地域県政総合センター 東海大学観光学部 により、産業、観光等地域経済の振興に関することを検討している。

**葛川サミット**・・・葛川流域の3町（中井町 二宮町 大磯町）が広域行政の一環として、葛川の清流を復活させることや葛川を活用したまちづくりなどについての連携を深める取り組みを行っている。

## 6 事業の内容

### (1) 三つの舞台の目標

大磯町の区域を次の三つに分け、それぞれの舞台名と目標は次のとおりである。

舞台名	目標
大磯丘陵	「グリーンパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり
邸園文化交流園	「邸園文化+地域活動オープンガーデン」による地域密着型観光保養施設の創出
こゆるぎの浜	「ブルーパーク」ニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり

### (2) 三つの舞台の現況と課題

三つの舞台の現況と課題を整理すると次のとおりである。

舞台名	現況	課題
三つの舞台に共通するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関が未整備</li> <li>・空き家、空き店舗が増加</li> <li>・観光客用の駐車場が不十分</li> <li>・宿泊施設、飲食施設の不足</li> <li>・伝統行事の担い手不足</li> <li>・良好な景観が消失</li> <li>・週末を中心に幹線道路が渋滞</li> <li>・国内外からの来訪者の受入れ態勢が未成熟</li> <li>・圏央道、さがみ縦貫道路の開通や国道134号の4車線化</li> <li>・豊かな地域資源に対する町外者の認知度不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内を巡る交通補助手段の整備</li> <li>・空き家、空き店舗の有効活用</li> <li>・有料駐車場の整備</li> <li>・宿泊施設、飲食施設の充実</li> <li>・伝統行事の継承と活用</li> <li>・景観計画に基づく景観の創出</li> <li>・広域道路網の整備</li> <li>・ニューツーリズムの創出</li> <li>・トイレや休憩所等の充実</li> <li>・案内サイン等の整備充実</li> <li>・インターネット接続環境の整備充実</li> <li>・町民ホスピタリティの醸成</li> <li>・新たな大磯ブランドの構築と効果的な情報発信</li> </ul>

舞台名	現況	課題
大磯丘陵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯の緑の骨格を形成し、山林や農地などの自然的土地利用が大半を占め、大部分が市街化調整区域である。</li> <li>・農業就業者の減少・高齢化や獣害により耕作放棄地が増加</li> <li>・富士見地区では観光みかん狩りが展開</li> <li>・大磯運動公園や星槎湘南大磯キャンパスが立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地の保全と活用</li> <li>・農業の6次産業化や新規就農者等の確保による活性化と耕作放棄地の解消</li> <li>・有害鳥獣対策の推進</li> <li>・荒廃した里地、里山の整備と活用</li> <li>・教育、文化、スポーツ施設の活用</li> </ul>
邸園文化交流園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域であり、大部分が住宅等の都市的土地利用である。</li> <li>・個人商店が減少</li> <li>・第1種低層住居専用地域に立地する旧別荘地がマンションや戸建て住宅地へと変貌</li> <li>・旧東海道松並木の松や市街地の緑が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規出店者の開拓</li> <li>・歴史的建造物の保全と活用</li> <li>・市街地の緑の保全</li> </ul>
こゆるぎの浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸を除き市街化区域であり、大磯港を除き自然海岸である。</li> <li>・海岸線の松林が減少</li> <li>・漁業就業者の減少と高齢化が進み、漁業主体の漁師は個人11名、法人3団体のみで、遊漁船主体が20名と大半を占める。</li> <li>・大磯港では魚のせりを中止しており、水揚げされた魚はほとんどが町外の市場に出荷されている。</li> <li>・大磯港は交流施設の整備や大磯市等の開催により交流人口が増加している。</li> <li>・照ヶ崎海岸は日本有数のアオバト飛来地である。</li> <li>・北浜海岸では夏期に海水浴場が設置されるが、来場者は減少傾向にある。</li> <li>・海岸の利用はサーファーや釣りが主であり、一部観光地引き網が行われている。</li> <li>・西湘バイパス大磯西インターチェンジ付近には、リゾート機能及びコンベンション機能を有する大磯プリンスホテル(大磯ロングビーチ)がある。</li> <li>・太平洋岸自転車道が大磯港から葛川河口付近まで整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林の保全</li> <li>・漁業の6次産業化や後継者の確保等による活性化</li> <li>・大磯港を地域活性化拠点として整備と活用</li> <li>・海水浴場を含む海岸の整備と活用</li> <li>・津波避難対策の強化</li> <li>・太平洋岸自転車道の整備と活用</li> </ul>



### (3) 全体事業の目標等

三つの舞台の現況と課題をふまえ、その課題を解決するための目標を次のとおり定める。

舞台名	目 標
三つの舞台に共通するもの	<p>1. 大磯の強みである「歴史」、「景観」、「健康」、「食文化」を組み合わせ、他の地域との差別化を進め、体験型観光（ニューツーリズム）を通じて大磯でしか得られない「感動」を体験してもらい、何度も訪れたい、住みたいと思う日本一の保養地を創造する。</p> <p>①先代から引き継がれた自然や歴史文化、優れた住環境を守り育てる。</p> <p>②大磯の魅力を再確認して新たな「大磯ブランド」を構築する。そのうえで効果的な情報発信により大磯ブランドを町内外に広め、大磯ブランドを活用したニューツーリズムを創出する。</p> <p>③町の魅力の再認識を通じ町民の地域に対する愛着と誇りの心を涵養し、観光客に対する「おもてなしの心」の醸成を図る。</p> <p>④近隣自治体等と連携し、町へのアクセス性の向上を図るとともに、町内を巡るための交通手段の充実化を図る。さらに宿泊施設、飲食施設、公衆トイレ、有料駐車場、案内看板及び通信設備などを整備し、観光客の満足度を高めてリピーターの増加につなげる。</p> <p>2. 目標数値を次のとおり設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光客消費額：3,000円／人 (平成23年は約1,500円／人)</li> <li>・ 観光客数：年間1,000,000人以上 (平成23年は839,000人)</li> </ul>
大磯丘陵	<p>1. 風致地区の指定等により自然環境の保全を図る。</p> <p>2. 耕作放棄地、里地里山及び文化・スポーツ施設等を活用し、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型観光（グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム）を推進する。</p> <p>3. 観光農園や農業の体験機会づくりなどの観光型農業を推進する。</p>
邸園文化交流園	<p>1. 空き店舗等を活用し、新規出店者の支援を図る。</p> <p>2. 風致地区、特別緑地保全地区及び特別用途地区制度を活用し、小滝海岸松林地区の優れた景観の保全と歴史的建造物の保存活用を図る。</p> <p>3. 旧吉田茂邸の再建を推進し、観光拠点としての利活用を図る。</p> <p>4. 市街地の緑化を推進し、住む人も訪れる人も安らぐことが出来る環境整備を図る。</p>
こゆるぎの浜	<p>1. 大磯港に賑わい交流施設等を整備し、漁業の振興と地域活性化の拠点として活用する。</p> <p>2. 北浜海岸の広大な砂浜と西湘バイパス高架下を整備し、通年型のレジャーゾーンとして活用する。</p> <p>3. 海岸、港湾利用者の津波避難対策を強化する。</p>



## 7 目標を達成するために行う事業

新たな観光の核づくり構想の提案実施事業は次の5つの事業であり、各事業の取組内容等は次のとおりである。

<b>1. 旧別荘地の保全と活用</b>	<b>【舞台】</b> 邸園文化交流園	<b>【概算事業費】</b> 約 611,000 千円
----------------------	------------------------	--------------------------------


No.	概要	実施主体	事業年度	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧滄浪閣や旧池田邸を中心とする貴重な歴史的邸園資産が集積する一体エリアを邸園文化交流園「大磯」の重要な拠点として、再生・利活用を図る。</li> <li>また、オープンガーデンの拡大等により、緑あふれる大磯町を創出する。</li> </ul>	大磯町／大磯町商工会／大磯町観光協会／大磯がトボランティア協会／おいそオープンガーデンホーム運営委員会／民間事業者等	H26～ H32	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧吉田茂邸を再建し、体験・学習・交流する施設として活用する。</li> <li>何時訪れても、新鮮で魅力的な場となるよう庭園の利活用や関連施設との連携ツアーなどについて、継続した連携に努める。</li> <li>また、近隣に立地する大磯プリンスホテルとのタイアップにより、相乗効果を高めるよう連携を図る。</li> </ul>	神奈川県／大磯町／大磯町観光協会／大磯がトボランティア協会／神奈川県公園協会／大磯プリンスホテル等	H25～ H32	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途制限により建築物の用途が制限されている歴史的建造物及び一体で利用されている庭園について、維持管理費など所有者の負担軽減を支援するためにも、保全を前提に活用を図ることは重要な課題である。</li> <li>そのため、小淘綾海岸松林地区を対象に、都市計画制度の地域地区（風致地区、特別緑地保全地区、特別用途地区）の重複指定を図り、良好な景観と緑地を維持しつつ、歴史的建造物の保全と活用を図る。</li> </ul>	別荘所有者／大磯町	H25～ H26	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>未公開邸園の公開</li> <li>観光環境等の整備</li> <li>別荘に関する展示</li> <li>鴨立川の清流の回復と親水・緑化の推進</li> </ul>	別荘所有者／民間事業者／大磯町／大磯観光協会／大磯がトボランティア協会等	H25～ H32	

<b>2. ニューツーリズム※の創出</b> (※旅行先での人や自然との触れ合いが重要視された新しいタイプの旅行)	<b>【舞台】</b> グリーンパーク 邸園文化交流園 ブルーパーク	<b>【概算事業費】</b> —
--	---	---------------------

No.	概 要	実施主体	事業年度	備考
1	<p>・3つの舞台で地域資源を活用し、「交流」・「学習」・「健康」・「食」・「文化」を楽しむ体験型プログラム（グリーンツーリズム・ヘルスツーリズムなど）を創出する。</p>  <p style="text-align: center;">ヘルスツーリズム</p>	大磯町新たな観光の核づくり推進協議会	H25～ H27	 <p style="text-align: center;">スポーツツーリズム</p>
2	<p>・大磯市とマチナカとの連携            公共施設や画廊などを利用した美術展（オープンギャラリー、サンデーアートウォーク）を大磯市に合わせて開催し、回遊性の創出に努める。</p>  <p style="text-align: center;"> <b>大磯市実行委員会</b>          国土交通省 平成25年度地域づくり表彰          全国地域づくり推進協議会会長賞受賞       </p>	大磯町／大磯町漁業協同組合／大磯町商工会／大磯町観光協会等	H25～ H32	

No.	概 要	実施主体	事業年度	備考
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光環境等の整備</li> <li>観光客等の主な回遊ルート上の要所を中心に公衆トイレ、休憩所及び案内看板の整備・改修を進める。</li> <li>更に Wi-Fi 等のインターネット接続環境の整備について検討する。</li> </ul>	大磯町／大磯ガイドボランティア協会等	H26～ H32	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩きコースの充実</li> <li>・ 通い型の田舎暮らしの仕掛けづくり</li> <li>・ 未利用の農水産物資源の活用</li> <li>・ 港を出入り口にした「相模湾沿岸の新たな観光」商品の開発</li> <li>・ 宿泊施設、飲食施設の検討</li> <li>・ 大磯ロングビーチから大磯運動公園までのエリアを中心としたスポーツタウン化事業の検討</li> </ul>	大磯町新たな観光の核づくり推進協議会	H25～ H32	

3. (仮) 大磯ブランド戦略の策定と大磯ブランドの認定	【舞台】 グリーンパーク 邸園文化交流園 ブルーパーク	【概算事業費】 —
------------------------------	--------------------------------------	--------------

No.	概要	実施主体	事業年度	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外へ大磯町の価値や魅力について統一感を持って効果的に発信し、国内外から選ばれ続けるためのコンセプトを含めた(仮)大磯ブランド戦略を策定する。</li> <li>・(仮)大磯ブランド戦略に基づき、特産物、文化、自然や景観などの個別ブランドの形成に努め、大磯らしさの創出を図る。</li> </ul>	大磯町新たな観光の核づくり推進協議会	H25～ H26	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯は古くから続く歴史文化と豊かな自然を有しているにも関わらず、その「良さ」が、ほとんど知られていない。このような地域資源を享受できる「大磯ならではの」情報について、(仮)大磯ブランド戦略に基づいた「PR戦略」を図る。</li> </ul>	大磯町／大磯町観光協会等	H25～ H26	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大磯ブランド創出の目的は外から人を呼び込むことだけではなく、町民の地域に対する愛着や誇りの向上に繋げることである。「大磯ブランドの創出」→「町民のライフスタイルの向上」→「来訪者・移住者の増加」→「大磯ブランドの更なる向上」→「町民の愛着や誇りの向上」といった好循環のスパイラルを構築するため、(仮)大磯ブランド戦略に基づいた「町民の愛着や誇りの向上」を図る。</li> </ul>	大磯町新たな観光の核づくり推進協議会	H25～ H26	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光立町推進アイデアの募集</li> </ul>	大磯町新たな観光の核づくり推進協議会／大磯町	H25～ H32	

4. 大磯港賑わい交流施設の整備	【舞台】 ブルーパーク	【概算事業費】 —
------------------	----------------	--------------

No.	概要	実施主体	事業年度	備考
1	<p>・圏央道・さがみ縦貫道路開通や国道 134 号の 4 車線化に伴い増加が見込まれる北関東方面からの行楽客の取り込み対策として、大型休憩施設の必要性が高まっている。</p> <p>神奈川県が策定した大磯港活性化整備計画に位置づけられた港湾管理事務所や漁業協同組合事務所の建替えにあわせ、多目的スペース、飲食店、物販店、休憩施設や情報提供施設等を整備し、350 台規模の駐車場を活用する大磯港の「みなとオアシス」化を図る。このような賑わい交流施設においては、大磯丘陵等で収穫される農作物や、大磯港で水揚げされる海産物を求める集客を目指し、活性化事業の創出をする。</p>	大磯町漁業協同組合／大磯町／神奈川県／農林水産省／国土交通省／大磯港みなとまちづくり協議会／大磯町商工会／大磯町観光協会／湘南農業協同組合など	H26～ H32	
		港湾管理事務所及び漁業協同組合事務所		
2	<p>・邸園文化交流園の中心となる伊藤博文公ゆかりの旧滄浪閣は 200 台以上の駐車機能を有しており、双方の連携した誘導を図り、エリアとしての相乗効果を高めるように努める。</p>	民間事業者／大磯町観光協会／大磯町	H26～	

No.	概要	実施主体	事業年度	備考
3	<p>・来訪者が通年で集い楽しむ海の公園「Oiso Blue Park(仮称)」をコンセプトに、港を中心としたエリアについて再生・利活用するよう検討する。</p> <p>【ビーチエリア：海水浴場周辺 砂浜との連携】 広い砂浜を活かしビーチスポーツ、ボードウォーク等の整備について検討する。</p> <p>【みなとオアシスエリア：ウェルネスやビーチスポーツ等の滞在リゾート機能付加の検討】 ランニング、サイクリング、フィッシングなどの拠点となる施設整備を検討する。</p> <p>【磯エリア：照ヶ崎海岸周辺との連携】 磯という地形を活かして海洋学習など子供のあそび・学びの場として活用について検討する。</p>	<p>大磯町／大磯町 漁業協同組合／ 大磯港みなとまちづくり協議会 ／大磯だいき俱樂部／ランナーズ・ウェルネス</p>	<p>H26～ H32</p>	
				
4	<p>・骨材置場の改善</p>	<p>神奈川県／大磯町</p>	<p>H27～</p>	

5. 自転車によるネットワーク網の整備	【舞台】 グリーンパーク 邸園文化交流園 ブルーパーク	【概算事業費】  —
---------------------	--------------------------------------	------------------

No.	概 要	実施主体	事業年度	備考
1	国、県、関係町が一体となり、大磯港を中心に、太平洋岸自転車道の延伸をはじめ、葛川流域沿いに位置する3町の広域的な自転車ルート案など、自転車ネットワーク網の整備に向けた検討を進める。	国土交通省／神奈川県／大磯町／二宮町／中井町	H26～	
2	「コミュニティ・サイクル」や「ヘルスツーリズム」を進めるため、回遊ルート上の要所を中心にサイクルポート整備やレンタサイクル事業の展開等、湘南地域の近隣市町などと広域的な自転車ネットワーク整備に向け連携した取組みを検討する。	各種広域協議会等	H26～	
3	回遊性向上を図る先導的施設として、町営照ヶ崎プール管理棟をサイクルポートとしても利用出来るようリノベーションし、町内自転車ネットワーク整備に向け、マップ作成を視野に入れた展開を進める。また、大磯プリンスホテルとのイベント等のタイアップにより、相乗効果を高めるよう連携を図る。	大磯町	H26～	